



(150)

小学校高学年向け

年組

(2023年2月24日付・下野新聞1面)

記事は加工しています

移住希望先 本県 ①位

前年 ②位から大幅上昇

22年NPOアンケート

③	④
⑤	⑥
⑦	⑧
⑨	⑩
⑪	⑫
⑬	⑭
⑮	⑯
⑰	⑱
⑲	⑳

地方移住を支援するNPO法人「ふるさと回帰支援センター」(東京都)の窓口相談者が選んだ2022年の都道府県移住希望先ランキングで、本県が3位を獲得したことが23日までに分かった。過去最高位で、前年の9位から大幅にラン

クアップした。県は窓口対応に当たる相談員を増員したことなどが奏功したほか、テレワーク需要の高まりも追い風になったとみている。同センターは09年からランキングを公表しており、22年は相談者約6700人

2022年移住希望地ランキング上位20道県

※ふるさと回帰支援センターによる

センターは「全年代でまんべんなく選ばれた」とした。本県の上位浮上の理由として県地域振興課は、同センター窓口の体制を22年4月に相談員1人から男女2人に増員したことや、イベントやセミナーなどのPR強化を挙げる。実際に22年度の相談件数は23年1月末

時点で900件を超え、21年度の707件を大幅に上回る見通しだ。アンケートでは移住希望先として「地方都市」を選ぶ人が最も多く、同課は「移住希望者が求める働き方や暮らし方が、本県とマッチングしやすいのではないかと分析している。同センターによると、相

談者のうち40代以下が全体の約7割を占め、「移住希望地が明確で本気度の高い相談」が増えているという。同課は「センターは東京圏の移住希望者との最初の接点になるが、現地に足を運んでもらい、イメージとのギャップを埋めて移住に「なげたい」としている。(稲葉雄大)

設問

【1】見出しの①、②に当てはまる数字を答えましょう。

【2】ランキング表の③、④、⑤、⑥に当てはまる都道府県を漢字で答えましょう。

【3】本文の()に入る、年代別ランキングの結果から分かることは、どのようなことでしょうか。

【4】県地域振興課が挙げている、栃木県が上位に浮上した二つの理由は何ですか。

【5】あなたなら、栃木県に移住を希望する人に対して、どのような県の魅力を伝えますか。